

森林・土地利用に関するグラスゴー・リーダーズ宣言の概要

1. 概要

令和3年10月31日から11月13日まで英国グラスゴーで開催された国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）において、英国ボリス・ジョンソン首相が主催する「世界リーダーズ・サミット」が開催され、その一環として、11月2日に森林減少を終わらせ森林を回復させることに対する機運を高めるため、「森林・土地利用イベント」が開催された。

同イベントにおいて、2030年までに森林の消失と土地の劣化を食い止め、さらにその状況を好転させるため、森林保全とその回復促進などの取組を強化する「森林・土地利用に関するグラスゴー・リーダーズ宣言」が発表された。

本宣言は、我が国をはじめ、英国、米国、EU、インドネシア、ブラジルなど140以上の国・地域が参加している。

2. 宣言の主要な内容

温室効果ガス排出と吸収源のバランス等のために、森林、生物多様性、持続可能な土地利用が果たす重要かつ相互に依存した役割を強調。

持続可能な生産・消費、貿易及び金融・投資という相互に関連した分野で変革をもたらす更なる行動等が必要と認識。

持続可能な開発の実現等を行いつつ、2030年までに森林の消失と土地の劣化を食い止め、さらにその状況を好転させるために、共同で取り組むことにコミット。

以下の共通の努力を強化する。

- (1) 森林及びその他の陸域生態系の保全とその回復を加速。
- (2) 持続可能な開発や持続可能な生産・消費を促進し、森林減少や土地劣化を引き起こさない貿易や開発政策を促進。
- (3) 収益性の高い持続可能な農業開発や森林の多面的価値の認識などを通じ、脆弱性の軽減、農村の強靱化や生活向上の実現。
- (4) 持続可能な農業にインセンティブを与え、食料保障を促進し、環境に役立つ農業政策・プログラムを実施し、必要に応じて再設計。
- (5) 持続可能な農業、持続可能な森林経営、森林の保全と回復を可能にするための官民の多様な資金源からの資金・投資を大幅に増加。
- (6) 森林の損失・劣化を好転させるための国際的な目標と、その実現に必要な資金の整合を促進。